

法人単位資金収支計算書

（自）令和 7年 4月 1日 （至）令和 8年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福社会

（単位： 円）

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
事業活動による収入	保育事業収入	174,251,763	180,812,940	△ 6,561,177	
	受取利息配当金収入	71,590	137,086	△ 65,496	
	その他の収入	2,511,400	2,538,000	△ 26,600	
	事業活動収入計 (1)	176,834,753	183,488,026	△ 6,653,273	
	人件費支出	145,485,000	155,330,204	△ 9,845,204	
	事業費支出	13,594,945	13,056,871	538,074	
	事務費支出	17,174,100	17,361,728	△ 187,628	
	事業活動支出計 (2)	176,254,045	185,748,803	△ 9,494,758	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	580,708	△ 2,260,777	2,841,485	
施設整備等による収入	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	固定資産取得支出	500,000	363,000	137,000	
	施設整備等支出計 (5)	500,000	363,000	137,000	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 500,000	△ 363,000	△ 137,000	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	その他の活動収入計 (7)	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	その他の活動支出計 (8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	3,000,000	△ 3,000,000	
予備費支出 (10)		80,708	—	80,708	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	376,223	△ 376,223	
前期末支払資金残高 (12)		66,798,739	66,798,739	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		66,798,739	67,174,962	△ 376,223	

法人単位事業活動計算書

（自）令和 7年 4月 1日 （至）令和 8年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

（単位： 円）

勘 定 科 目		当 年 度 決 算 (A)	前 年 度 決 算 (B)	増 減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益 保育事業収益	180,812,940	176,269,975	4,542,965
	サービス活動収益計 (1)	180,812,940	176,269,975	4,542,965
	費用 人件費	155,330,204	132,393,208	22,936,996
	事業費	13,056,871	13,420,945	△ 364,074
	事務費	17,361,728	12,309,523	5,052,205
	減価償却費	11,623,090	11,544,143	78,947
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,983,954	△ 2,983,954	0
	サービス活動費用計 (2)	194,387,939	166,683,865	27,704,074
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 13,574,999	9,586,110	△ 23,161,109
	収益 受取利息配当金収益	137,086	90,987	46,099
サービス活動外増減の部	その他のサービス活動外収益	2,538,000	2,422,000	116,000
	サービス活動外収益計 (4)	2,675,086	2,512,987	162,099
	費用			
	サービス活動外費用計 (5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	2,675,086	2,512,987	162,099
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		△ 10,899,913	12,099,097	△ 22,999,010
特別増減の部	収益 特別収益計 (8)	0	0	0
	費用 固定資産売却損・処分損	0	107,132	△ 107,132
	特別費用計 (9)	0	107,132	△ 107,132
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	0	△ 107,132	107,132
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		△ 10,899,913	11,991,965	△ 22,891,878
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	155,324,999	163,133,034	△ 7,808,035
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	144,425,086	175,124,999	△ 30,699,913
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	3,000,000	0	3,000,000
	その他の積立金積立額 (16)	0	19,800,000	△ 19,800,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	147,425,086	155,324,999	△ 7,899,913

法人単位貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人 大住福社会

（単位： 円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	77,931,777	73,934,125	3,997,652	流動負債	10,756,815	7,135,386	3,621,429
現金預金	61,260,128	50,052,273	11,207,855	事業未払金	6,205,938	4,050,912	2,155,026
事業未収金	11,060,770	18,714,600	△ 7,653,830	職員預り金	4,550,877	3,084,474	1,466,403
未収補助金	5,071,100	4,947,000	124,100				
前払金	36,747	72,852	△ 36,105				
前払費用	503,032	147,400	355,632				
固定資産	302,734,053	316,994,143	△ 14,260,090	固定負債	0	0	0
基本財産	171,516,072	177,505,397	△ 5,989,325	負債の部合計	10,756,815	7,135,386	3,621,429
建物	171,516,072	177,505,397	△ 5,989,325	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	131,217,981	139,488,746	△ 8,270,765	基本金	57,338,545	57,338,545	0
建物	20,075,071	22,682,789	△ 2,607,718	国庫補助金等特別積立金	63,345,384	66,329,338	△ 2,983,954
構築物	5,065,204	6,072,056	△ 1,006,852	その他の積立金	101,800,000	104,800,000	△ 3,000,000
器具及び備品	3,861,286	5,485,187	△ 1,623,901	人件費積立金	37,000,000	40,000,000	△ 3,000,000
権利	416,420	448,714	△ 32,294	修繕積立金	52,800,000	52,800,000	0
人件費積立資産	37,000,000	40,000,000	△ 3,000,000	備品等購入積立金	12,000,000	12,000,000	0
修繕積立資産	52,800,000	52,800,000	0	次期繰越活動増減差額	147,425,086	155,324,999	△ 7,899,913
備品等購入積立資産	12,000,000	12,000,000	0	（うち当期活動増減差額）	△ 10,899,913	11,991,965	△ 22,891,878
				純資産の部合計	369,909,015	383,792,882	△ 13,883,867
資産の部合計	380,665,830	390,928,268	△ 10,262,438	負債及び純資産の部合計	380,665,830	390,928,268	△ 10,262,438

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

社会福祉法人 大住福祉会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部								
1 流動資産								
現金預金				-		-	-	61,260,128
現金	現金手許有高			-	運転資金として	-	-	26,630
普通預金	京都銀行大住支店	No. 646636		-	"	-	-	12,432,931
	京都銀行大住支店	No. 650104		-	"	-	-	22,402,095
定期預金	京都銀行大住支店	No. 1041901		-	"	-	-	26,398,472
事業未収金				-	委託費 精算分	-	-	11,060,770
未収補助金				-	特別保育事業費補助金等	-	-	5,071,100
前払金				-	2026年度購読料等	-	-	36,747
前払費用				-	2026年度AEDリース料等	-	-	503,032
流動資産合計								77,931,777
2 固定資産								
(1) 基本財産								
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の 鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟 1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡		2000年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	223,419,820	110,938,864	112,480,956	
			2012年度		19,963,427	5,746,134	14,217,293	
			2020年度		51,200,858	6,383,035	44,817,823	
			小 計			171,516,072		
基本財産合計								171,516,072
(2) その他の固定資産								
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所在の 鉄筋コンクリート造かわらぶき陸屋根2階建 大住保育園園舎1棟1階455.62㎡ 2階393.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園園舎1棟 1階158.01㎡		2012年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	6,970,663	6,110,348	860,315	
			2013年度		1,890,000	1,889,999	1	
			2020年度		29,197,430	11,425,043	17,772,387	
			2023年度		1,698,400	256,032	1,442,368	
			小 計			20,075,071		
構築物	園庭遊具等	-	保育事業用	39,310,023	34,244,819	5,065,204		
器具及び備品	エアコン、厨房機器等	-	保育事業用	27,209,828	23,348,542	3,861,286		
権利	電話加入権等	-	保育事業用	604,800	188,380	416,420		
ソフトウェア	栄養計算ソフト	-	保育事業用	179,712	179,712	0		
人件費積立資産	京都銀行大住支店	No. 650104	-	将来における人件費のために積み立てている普通預金	-	-	37,000,000	
修繕積立資産	京都銀行大住支店	No. 650104	-	将来における修繕費のために積み立てている普通預金	-	-	52,800,000	
備品等購入積立資産	京都銀行大住支店	No. 650104	-	将来における備品等購入費のために積み立てている普通預金	-	-	12,000,000	
その他の固定資産合計								131,217,981
固定資産合計								302,734,053
資産合計								380,665,830
Ⅱ 負債の部								
1 流動負債								
事業未払金	3月分給食材料等	-		-	-	6,205,938		
職員預り金	3月分社会保険料等	-		-	-	4,550,877		
流動負債合計								10,756,815
2 固定負債								
固定負債合計								0
負債合計								10,756,815
差引純資産								369,909,015

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 重要な会計方針

(1)資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2)固定資産の減価償却の方法

- ・建物 — 定額法
- ・構築物 — 定額法
- ・器具及び備品 — 定額法
- ・ソフトウェア — 定額法
- ・権利 — 定額法

(3)引当金の計上基準

- ・賞与引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。
- ・徴収不能引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、京都社会福祉事業企業年金基金が実施する退職給付制度及び、独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

4. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため、省略する。

- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため、作成していない。

(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人本部拠点（社会福祉事業）

「本部」

イ 大住保育園拠点(社会福祉事業)

「大住保育園」

5. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位: 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	177,505,397	0	5,989,325	171,516,072
合計	177,505,397	0	5,989,325	171,516,072

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	294,584,105	123,068,033	171,516,072
建物	39,756,493	19,681,422	20,075,071
構築物	39,310,023	34,244,819	5,065,204
器具及び備品	27,209,828	23,348,542	3,861,286
合 計	400,860,449	200,342,816	200,517,633

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

監 査 報 告 書

令和 8 年 5 月 20 日

社会福祉法人大住福社会

理事長 関根眞治 殿

監事

松井 啓二 

監事

上田 和子 

私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 6 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和7年度事業報告

施設運営

今年度4月、新入園児11名、継続園児90名、計101名で始まり、5月6名、6月6名、9月3名、10月4名、11月2名1月1名の途中入所があり、退園児も4月1名、5月2名、9月3名、10月1名、1月1名、3月1名あった。最終在園児数は116名で、定員120名に対して今年度も4名の減員となった。

園の自己評価については、今年度もホームページ上に公表を行った。

園行事は、京都市動物園に10月22日(水)幼児60名(3～5歳児)職員5名が大型バス1台、中型バス1台に分乗し出掛けた。また、3月の5歳児お別れ遠足も、大型バスを使い京都水族館へ行くことが出来た。次年度もバスを利用予定であり、早めにバスを予約確保したい。

施設整備では、今年度も京都府の補助金事業（保育環境等向上支援事業補助金）を利用し、園庭ゴムチップマット舗装工事（7/27）、京都府農林水産部林業振興課木材利用促進課の「ひろがる京の木整備事業」の補助金制度を利用し、「ベンチにもなる平均台」6台を購入した。補助金以外では、施設内外で使用している蛍光灯をLED照明器具への取替工事（8/22・23）、年度末の3月には、砂場の清掃・除菌（3/24）と貯水槽清掃点検（3/26）を行った。

職員状況

新年度新卒者採用に向けて、10月5日(日)京都府保育人材マッチング支援センター他主催の第2回就職フェアに出展したが、新卒者が当園のブースに来ることはなかったが、既卒者3名(保育士1名、調理師1名、無資格者1名)が来られ、後日面談を行い調理師1名と無資格者1名の採用を決めた。無資格者は、現在保育士資格取得中との事で資格取得までの間は、保育補助者として採用した。

職員では、昨年度第二子を出産し、育児休業中の保育士が1月23日付で職場復帰したが、5年目を迎える保育士3名が結婚等により退職し、新たに保育士募集が必要となった。

施設経営

今年度当初予算では、途中入所園児を考慮せず、マイナス予算としている。11月の第1次補正予算、3月の第2次補正予算において人件費率が82.1%と高めの数字であったが、決算においては84.6%と更に高い数字となった。要因としては、令和6年度分の人事勧告分を支出したことによる。

今年度の保育園運営での収入額は、183,488,026円、支出額は、186,111,803円、収支差額は、-2,623,777円でマイナス決算であるが、人件費積立資産を3,000,000円取り崩し収入に充てたので、令和7年度の全体収支としては、376,223円のプラスとしている。

収入面では、約 450 万円増加しているが、同様に人件費も約 2,280 万円増加しており、このような決算となった。

今後としては、高くなっている人件費率を如何にして抑え低く出来るか、保育人材等の確保が喫緊の課題である。

令和 7 年度 4 月～3 月の園児数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 標	1	1	2	2	2	4	5	5	6	7	7	7
短	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
1 標	11	15	16	16	15	16	15	16	17	17	16	16
短	1	2	2	2	3	3	4	4	3	3	4	4
2 標	19	18	19	19	19	19	19	18	18	19	17	17
短	6	6	6	6	6	6	6	7	7	6	7	7
3 標	24	25	26	26	26	25	24	24	24	24	25	25
短	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	2	2
4 標	10	10	9	9	10	10	10	10	10	9	9	8
短	2	2	3	3	2	2	2	2	2	3	3	4
5 標	22	22	22	22	22	23	22	22	22	22	22	22
短	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
合計	101	106	110	110	110	113	114	115	116	117	116	116

標準時間児計 1,133 名 短時間児計 211 名 総園児数合計 1,344 名

令和 7 年度職員数 27 名

内訳：園長 1 名、主任保育士 1 名、副主任保育士 2 名、保育士 18 名

保育補助者 1 名、調理員 3 名（調理師 2 名・栄養士 1 名）

アルバイト 1 名（無資格者）

嘱託職員 2 名（内科・歯科）

令和7年度年間行事予定		令和7年度年間行事实施状況
4月	・新年度説明会〔進級児を含む全園児保護者出席〕4日(金)	式は行わず、説明会のみ実施
5月	・尿検査 14日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕16日(金) ・保育参観〔3～5歳児〕20日(火)21日(水)23日(金) ・内科健診 22日(木)	5/14(水)予定通り実施 5/16(金)予定通り実施 5/20(火)21(水)23(金)予定通り実施 5/22(木)予定通り実施
6月	・歯科検診 5日(木) ・個人懇談 2日(月)～13日(金)※土日除く ・花の日礼拝 10日(火)	6/5(木)予定通り実施 6/2(月)～13(金)予定通り実施 6/10(火)礼拝後慰問実施(九十九園・大住駐在所他)
7月	・お泊り会〔5歳児〕11日(金)～12日(土)	7/11(金)～12(土)予定通り実施
9月	・保護者会主催園庭整備 6日(土)	9/6(土)予定通り実施
10月	・運動会〔2～5歳児〕4日(土)予備日8日(水) ・園外保育〔3～5歳児〕22日(水) ・保育参加〔0～2歳児〕29日(水)30日(木)31日(金)	10/4(土)運動会(2～5歳児)雨天の為順延。10/8(水)実施 10/22(水)予定通り実施 10/29(水)30(木)31(金)予定通り実施
11月	・内科健診 6日(木) ・保護者会主催なかよしフェスタ 8日(土) ・収穫感謝祭 12日(水) ・歯科検診 13日(木) ・クラス懇談〔3～5歳児〕17日(月)～19日(水)	11/7(木)内科健診 予定通り実施 11/8(土)保護者会主催なかよしフェスタ 予定通り実施 11/12(水)収穫感謝祭 予定通り実施 11/13(木)歯科検診 予定通り実施 11/17(月)～11/19(水)クラス懇談〔3～5歳児〕予定通り実施
12月	・クラス懇談〔0～2歳児〕1日(月)～4日(木) ・クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕17日(水)	12/1(月)～12/3(水)クラス懇談〔0～2歳児〕予定通り実施 12/17(水)クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕予定通り実施
2月	・豆まき 3日(火) ・親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕保育発表会〔2～5歳児〕14日(土) ・個人懇談〔希望者〕17日(火)～20日(金)	2/3(火)豆まき 予定通り実施 2/14(土)親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕保育発表会〔2～5歳児〕予定通り実施 2/17(火)～20(金)個人懇談 予定通り実施
3月	・お別れ遠足〔5歳児〕5日(木) ・お別れ会 10日(火) ・卒園式〔卒園児保護者出席〕23日(月)	3/4(水)お別れ遠足〔5歳児〕予定通り実施 3/10(火)お別れ会 予定通り実施 3/23(月)卒園式〔卒園児保護者出席〕予定通り実施
随時	・発育測定・避難訓練・合同礼拝・お楽しみ会	予定通り随時実施
次年度入園進級式 4月4日(土)		

令和 8 年年度（2026 年度）事業計画

社会福祉法人大住福祉会 大住保育園

1 施設の目的・運営方針

保育理念

社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。

保育目標〔豊かに伸びる〕

- ・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。
- ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。
- ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。
- ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。
- ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。

保育方法

- ・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。
- ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。
- ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しみながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。
- ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。
- ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。
- ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。
- ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。

2 職員体制

園長 1 人 保育士 23 人 栄養士 2 人 調理師 2 人 調理補助 1 人

3 保育を提供する日

開園日：月曜日から土曜日まで

休園日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する祝日および休日

新年度説明会の午後

気象特別警報、気象警報の大雪警報、暴風警報および暴風雪警報発令時

暴風雨、暴風雪、大雨、大雪、洪水その他の異常な自然現象により生じる災害の発生が予想されるとき

その他園長が特に必要と認めた日

4 保育を提供する時間

(1) 開園時間

月曜日～金曜日：午前 7 時～午後 7 時 土曜日：午前 7 時～午後 4 時

施設・法人運営について

令和8年度（2026年度）4月の入所児童は、新入児14名・継続児89名、合計103名で4年連続定員割れスタートとなる。前年度の在園児数は116名であった。

次年度以降の定員数については、定員変更を行い職員不足の緩和と保育の充実を図る。入所児童の減少は委託費収入等の減少に繋がるため、定員については、90名から100名の範囲内で検討を行い、京田辺市と協議のうえ最終定員を決め令和9年度より新定員での保育事業を行いたい。また、昨年度同様、途中入所児の受入も積極的に行う予定である。

施設整備としては、今年度も京都府の保育環境等向上支援事業の補助金制度、京都府農林水産部林業振興課木材利用促進課の「ひろがる京の木整備事業」（木製品導入支援型）等の補助金制度を利用し保育環境等を整備する予定である。

職員研修等については、キャリアアップ研修は自主的な受講が望ましいが職員数に余裕がなく、こちらで受講科目等を決め、受講してもらう現状である。キャリアアップ研修以外の研修については、自主的に研修を受講出来るように整備したい。

職員状況については、令和7年度3月末日で保育士2名が退職。調理師1名が昨年12月に急病で病院に救急搬送され、今年1月16日より休職となっている。休職期間は、在職期間が1年未満のため6か月（7月17日まで）であるが、職場復帰は難しく思われる。そのため、調理師を新たに1名採用（中途採用）。保育士については、有資格者1名（中途採用）無資格者1名（中途採用）この3名が令和8年度4月1日付採用である。なお、無資格者は現在保育士資格取得中であるため、保育補助者として勤務する。今年度5月以降の入所児を考慮しても保育士不足であり、引き続き保育士の確保を行う。

その他職員状況は、栄養士が育児休業中（職場復帰予定は令和8年8月1日）である。

法人運営

法人全体では、当初予算において途中入所児を考慮していないため、マイナス予算となっている。人件費率も、令和8年度当初予算上では、84.7%とかなり高い数字となっている。人件費は、昇給、退職、3名の新規採用のみ計上状況での人件費率であり、前年度以前分の遡及支給も見込まれるため、収支の運営バランスを見ながら、無駄の出ないように中長期的な運営を行っていく計画である。

令和8年度入所児童予定数

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継
標準時間	1	1	9	5	1	15	2	16	0	25	0	9	13	71
短時間	0	1	1	3	0	4	0	5	0	2	0	3	1	18
合計	3		18		20		23		27		12		103	

〈年間行事予定表〉

4	☆◇新年度説明会〔進級児を含む全園児保護者出席〕 4日(土)
5	・尿検査 13日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕15日(金) ☆◇保育参観〔3～5歳児〕18日(月)～20日(水) ・内科健診 21日(木)
6	・歯科検診 4日(木) ☆個人懇談 2日(火)～10日(水) ※土、日除く ・花の日礼拝 9日(火)
7	・お泊り会〔5歳児〕10日(金)～11日(土)
9	★保護者会主催園庭整備 5日(土)
10	☆◇運動会〔2～5歳児〕3日(土) 予備日7日(水) ・園外保育〔3～5歳児〕21日(水) ☆◇保育参加〔0～2歳児〕28日(水)29日(木)
11	・内科健診 5日(木) ★保護者会主催なかよしフェスタ 7日(土) ・収穫感謝祭 11日(水) ・歯科検診 12日(木) ☆◇クラス懇談〔3～5歳児〕16日(月)～18日(水) (16:00～17:00)
12	☆◇クラス懇談〔0～2歳児〕1日(火)～3日(木) (16:00～17:00) ☆◇クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕16日(水)
2	・豆まき 3日(水) ☆◇親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕・保育発表会〔2～5歳児〕13日(土) ☆個人懇談〔希望者〕16日(火)～19日(金)
3	・お別れ遠足〔5歳児〕4日(木) ・お別れ会 9日(火) ☆◇卒園式〔卒園児保護者出席〕23日(火)
随時	・発育測定 ・避難訓練 ・合同礼拝 ・お楽しみ会
次年度 新年度説明会 4月5日(月)	

- ・ ☆印は保護者の方にも参加していただく行事ですので、ご都合をつけてご協力くださいますようお願いいたします。(★は保護者会主催)なお、午前中のみで終了する行事もあります。
- ・ ◇印の行事の時、希望者は駐車場の利用が可能です。(事前申込制)
- ・ 行事の日程はあくまで予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。
詳しい日時は、毎月の園だより、配信等でお知らせします。

〈クラス編成〉

乳児	年齢	クラス名	幼児	年齢	クラス名
	0歳児	つくし		3歳児	すみれ
	1歳児	たんぽぽ		4歳児	ばら
	2歳児	もも		5歳児	ゆり

大住保育園 2026 年度 全体的な計画

保育理念		社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。				保育園の社会的責任		保育の計画と評価	
保育目標 (豊かに 伸びる)		・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。 ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。 ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。 ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。 ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。				・人権に配慮する ・子どもの人格を尊重し保育を行う ・地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する ・個人情報適切に取り扱う ・保護者の苦情解決を図るよう努める。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。	
保育の方法 (目指す 保育士像)		・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。 ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。 ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しめる環境を整えながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。 ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。 ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。 ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。 ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。				養護に関する基礎的事項 ・養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。 ・保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。 ・養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		幼児教育を行う施設として共有すべき事項 生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。	
保育の時間 など		標準時間 7:00～18:00 (延長 18:00～19:00) 土曜 7:00～16:00 短時間 8:30～16:30 土曜 7:00～16:00				小学校との連携 (小学校教育との接続) 保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようになる。		子どもの発達・生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、通常保育とのバランスを考慮し、一日の疲れや保護者を持つ気持ちを受け止め温かい対応を行う。家庭との密接な連携を行うと共に、職員間の協力体制と子どもの正確な情報の伝達を通し、子どもが不安を抱くことなく過ごせる環境と保育を保証する。	
行 事		入園進級式、園外保育、内科健診、保育参加、歯科検診、個人懇談、花の日礼拝、お泊り会、運動会、なかよしフェスタ、クラス懇談・保育参観、収穫感謝祭、クリスマス礼拝、豆まき、遊ぼう会、発表会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式							
年 齢		満1歳まで	1歳児 (満1歳から)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学校以上の教育との接続に鑑みて	
子どもの 保育目標		・個々の生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き情緒を安定させる	・探索活動を十分し、周囲の人や物への興味、関心を広げ、意欲へとつながる	・喜怒哀楽を十分表現でき、象徵機能や、観察力を発揮してあそびを広げようとする	・友だちとの関わりの中で、保育士の仲立ちにより、相手の気持ちに気づく	・保育士や友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しみ、相手を思いやる気持ちが育つ	・相手を思いやる気持ちが育ち、生活やあそびの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動する	育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。	
養 護	生命 保持	・家庭との連携を密に取りながら、個々の生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たす	・応答的な関わりを通して、生理的欲求を満たされるようにする	・安定した園生活を送る中で、身の周りのことを自分でしようとする気持ちを育てる	・基本的な生活習慣を身につけられるようにする	・基本的な生活習慣が身につく、自分のできることに喜びを感じられるようにする	・基本的な生活習慣が身につく、自分ができたことに自信や満足感をもつ		
	情緒 安定	・応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する	・子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を築く	・様々な自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する	・自我の形成と共に主体的な行動や探索意欲が高められるようになる	・自己肯定感を育み、他者を受容する気持ちを育てる	・自己肯定感が育ち、仲間との一体感を感じながら自信を持って活動できるようにする		
教 育	健やかに 伸びびと 育つ	・寝返り、ハイハイ、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分に行う ・園生活を通して食事・睡眠・あそびなど生活リズムの育ちを促す	健康 ・歩行に伴い、探索活動が盛んになり、外界への興味や認識を広げていく	・全身や手指を使うあそびを楽しむ ・身のまわりの清潔や安全の習慣を少しずつ身につけていく	・外あそびを十分するなどあそびの中で体を動かす楽しさを味わう ・生活の流れがわかり、自分なりに身のまわりのことができるようになる	・危険なものや場所についてわかり、道具や用具などを使って体を動かしてあそぶ ・健康、安全な生活に必要な習慣に関心をもち、次第に身につけようとする	・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・健康安全な生活に、必要な習慣が身につく、見通しをもって行動する	10の姿 ア. 健康な心と体 イ. 自立心	3本の柱 ア. 豊かな体験を通じて感じたり、気付いたり、分ったりできるようになったりする「知識及び技能の基礎」
	身近な 人と気 持ちは 通じ 合う	・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、発語や保育士とのやりとりを楽しむ ・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる	人間 関係 ・保育士との安定した関わりの中で周囲の人に自ら関わろうとする	・保育士の仲立ちにより、友だちと一緒に過ごす楽しさを知る	・やってはいけないことが分かり、我慢しようとする ・簡単なルールを守ってあそぼうとする	・友だちの気持ちがわかり、喜びや悲しみを共感し合う ・友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする	・互いに許したり、認めたりできるようになり、仲間意識を高める ・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人たちに親しみを持つ	イ. 協働性 エ. 道徳性・規範意識の芽生え	イ. 気付いたりできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
	身近な ものと 関わり 感性が 育つ	・安心できる環境の下で、身近な物に興味・関心を持ち、つまむ・たたく・引く・張るなどの手や指を使ってのあそびを楽しむ ・讃美歌やわらべうたなどを楽しく歌ったり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ	環 境 ・探索活動を通して、身近な玩具や遊具、自然物に触れて十分あそぶ	・様々な物に触れ、好奇心を持ち、探索や模倣などを楽しむ	・身近な動植物や自然現象をよく見たり、触れたりして親しみ、命の大切さを育む	・自然や身近な事物、事象に触れ、驚いたり、感動したりして興味や関心を深める	・日常生活に必要な標識や身近にある文字などに興味や関心をもつ ・日常会話に必要な標識や身近にある文字などに興味や関心をもつ	オ. 社会生活の関わり カ. 思考力の芽生え	ウ. 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」
	身近な ものと 関わり 感性が 育つ	・安心できる環境の下で、身近な物に興味・関心を持ち、つまむ・たたく・引く・張るなどの手や指を使ってのあそびを楽しむ ・讃美歌やわらべうたなどを楽しく歌ったり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ	言 葉 ・保育士の応答的な関わりにより、声や言葉で気持ちを表そうとする	・保育士が仲立ちとなり、生活やあそびの中で言葉のやりとりを楽しむ	・生活に必要な言葉がある程度わかり、たいこと、してほしいことを言葉で表す	・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして言葉で伝える楽しさを味わう	・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話したり、わからないことを尋ねたりする	キ. 自然との関わり・生命尊重 ク. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ. 言葉による伝え合い コ. 豊かな感性と表現	
情報公開等		地域の実態に対応した保育事業と行事への参加	自己評価等	特色ある教育と保育	健康支援・状態把握・増進・疾病対応	環境及び衛生管理並びに安全管理 (危機管理計画別紙)	災害への備え (避難計画別紙)	子育て支援	職員の資質向上 (研修計画別紙)
・人権尊重・虐待確認保護・個人情報保護・苦情処理対応及び第三者委員、栄養士等の配置、適正な園運営のための会計事務所による外部監査・ホームページの開設 (給食試食会)・障がい児保育・延長保育等		人的物的面的確保、保育士の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進し、対応する。	・法人施設による適切な施設運営管理の評価・保育所の評価 (全体の反省による全体計画等の反映)・保育士等の評価 (自己評価と子どもの評価の確立)・自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得	・キリスト教に基づく保育 ・自然を生かし、のびやかな心と体を育む保育 ・保育環境を整え、遊びを豊かにする保育	・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握・年2回の嘱託医による健康診断 (内科・歯科)・参園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応・職員健康診断及び毎月の検便	・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持・感染対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有	・避難訓練 (火事・地震・風水害・不審者対応)の実施 ・消防署指導による消火訓練 ・被災時における対応と備蓄 ・年2回外部業者による消防設備点検 ・月1回消防設備等自主点検	教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気づき、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める	質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。

2026年度 月主題 しゅイエスとともに

0歳児

月	月主題	月のねがい
4月	はじめまして	・神さまから愛されている大切な存在として、ありのままを受け入れられる ・新しい環境の中で保育者や友だちにであう ・春の自然を感じる (保)子どもや保護者に細やかに寄り添い、穏やかに関わる
5月	だいじょうぶ	・保育者の祈りや賛美にふれる ・安心できる大人のそばで、十分にありのままを受けとめられながら過ごす ・身近な草や花を見たり、触れたりして過ごす (保)一人ひとりの表情やしぐさからその子の思いに気づき、共感する
6月	なになに	・保育者の祈りや賛美につつまれる ・まわりの人や物に目を向け始める ・まわりの自然に五感を使って触れて感じる (保)穏やかなまなざしや表現などで安心できる環境をつくる
7月	あれあれ	・保育者の祈りや賛美に親しむ ・こまめに体を清潔にしてもらい、心地よく過ごす ・水、光、風ほか、さまざまな素材の感触を楽しむ (保)環境を整え心地よく過ごせるようにする
8月	ゆっくりね	・まわりの人に愛され、神さまにまもられていることを感じる ・暑さの中、家族や保育者とゆったりとした時間を過ごす ・夏ならではの身近な変化を五感で感じる (保)感染症や熱中症に気をつけて、ゆっくりした時間をつくっていく
9月	あそぼう	・保育者の祈りやさんびかを歌う姿を通して神さまを感じる ・のびのびと過ごす中で、自分のお気に入りを見つける ・空や雲、虫の音などの秋の訪れを保育者とともに感じる (保)子どもの活動範囲や遊びを見て、安全に遊べる環境を見直す
10月	たのしいね	・保育者の祈りや賛美を真似ようとする ・友だちに関心をもち、一緒に楽しんでいると感じる ・少しずつ変わっていく季節を感じる (保)微細運動、粗大運動を通して体が育ち遊びが広がるよう支えていく
11月	み一つけた	・保育者の真似をして神さまに祈りや賛美を届ける ・興味関心が広がり、声を出して表現するようになる ・たくさんの自然物を五感で感じ、味わう (保)秋の豊かな恵みは神さまから贈られたものと知り、感謝する
12月	わくわく	・クリスマスの雰囲気や保育者とともに楽しむ ・自分からまわりの人に関わり合い、心が温かくなり満たされる ・あたたかい雰囲気の中で、心はずませ、クリスマスを楽しみに待つ (保)室温や換気、加湿など快適に過ごす工夫をする
1月	ここだよ	・神さまがともにいることを感じ、安心して過ごす ・友だち、保育者といふことを喜び、互に関わり合う ・自分でやってみようとする気持ちを大切にする (保)個々の育ちの姿から遊びや生活のリズムを見つめなおす
2月	だいすき	・保育者と一緒に祈ろうとする ・保育者や友だちとやり取りしながら、その存在がうれしくなり一緒に過ごすことが増える ・冬の自然を感じながら遊ぶ (保)子ども同士の間わり合いを見守り、それぞれの今の育ちを大切にすること
3月	おおきくなったね	・神さまのみまもりや愛にありがとうと祈る ・生活リズムが整い心も体も満たされて過ごす ・春の訪れを感じて、活発に動き出す (保)成長させてくださった神さまに感謝し、まわりの人と喜び合い、次年度へ引き継いでいく

2026年度 月主題 しゅイエスとともに

1,2歳児

月	月主題	月のねがい
4月	よろしくね	・保育者の祈りや賛美に親しむ ・新しい環境の中で保育者や友だちとあい、安心して過ごす ・戸外に出て春の草花、虫などに触れたり眺めたりする (保)一人ひとりの思いを受けとめて丁寧に関わる
5月	だいじょうぶ	・祈りやさんびかをきいて、心地よく感じる ・環境に慣れ、安心して好きな遊びをみつける ・自分の思いを受けとめてもらって、思いを表現する (保)子どもの姿の小さな変化に気づき、ともに感じることを大切にする
6月	どれどれ	・保育者と一緒にさんびかを歌い、賛美に合わせて体を動かす ・まわりの人やものに関心をもち、関わりようとする ・自然との関わりの中で様々な不思議にであう (保)それぞれの興味関心に共感しながら言葉を添えていく
7月	おもしろそう	・保育者の祈りや賛美の中でイエスさまを身近に感じる ・やりたいことをぞんぶんに楽しみ、友だちや保育者と共感する喜びを知る ・水、砂、土、泥などの感触を味わい、草花に触れて遊ぶ (保)暑い中でも心地よく過ごせるように配慮する
8月	ゆるやかに	・まわりの人に愛され、神さまに守られていることを感じる ・家族や保育者、友だちとゆるやかに過ごし、心が満たされる ・夏の生活を五感で感じる (保)ゆるやかな時間の中で生活できるよう工夫する
9月	やってみる	・神さまのお話を聞き、親しみをもつ ・友だちの存在に気づき、やってみようとなることが増える ・空や雲、虫の音に気づき、興味をもつ (保)一人ひとりの育ちを見つめ直し、それぞれに必要な関わりを保育者間で共有する
10月	やったあ	・保育者や友だちと一緒に祈ることやさんびかを歌うことを喜ぶ ・自分の好きなことをじっくりと取り組み、友だちの遊びにも関心をもち ・変化する季節の中で、散歩や戸外での遊びを楽しむ (保)子どもたちの興味関心を受けとめ、遊びが広がるように環境を整える
11月	もっともっと	・生活の中で、さんびかや祈りを通して神さまを身近に感じる ・やりたいことにじっくり取り組み、満足する ・自然の恵みを遊びや生活に取り入れる (保)子どもが考えたり選んだりできる環境を用意する
12月	うれしいね	・クリスマスの雰囲気を五感で感じ、わくわくしながらイエスさまのお誕生を待つ ・保育者や友だちとクリスマスの準備を楽しみ、いろいろな形で喜びを表現する ・風や空気の冷たさ、日の入りの早さなどの変化から、冬の訪れを感じる (保)保育者もクリスマスの本当の意味を知り、感謝の思いをもって過ごす
1月	いっしょがいい	・神さまが自分の身近にいてくださることを感じ、うれしく思う ・友だちと一緒に興味のあることをじっくり楽しむ ・冬の自然を感じながら体を使って楽しく遊ぶ (保)子どもたちの関係にも目を向け、葛藤や喜びを受けとめる
2月	だいじだいじ	・自分も友だちも神さまに愛されていることを感じ、友だちのことも祈る ・体幹がしっかりしてきて、手指をしっかりと動かして遊ぶ ・冬の自然の中でも、目に見えない命が育まれていることを知る (保)子ども同士の間わり合いを大切に捉えて保育者間で共有する
3月	おおきくなったよ	・いつも神さまと一緒にいてくださることを感謝する ・自分でできることが増え、誇らしく思う ・季節の変化を感じ、いろいろな春を見つけ、触れる (保)子ども、保護者、保育者ともに、育ちを喜び次年度へと繋げていく

2026年度 月主題 しゅイエスとともに

3 歳児

月	月主題	月のねがい
4月	つつまれて	・賛美と祈りのある生活の中で神さまの愛につつまれている雰囲気を感じる ・安心できる保育者や友だちのそばで、ありのままを受けとめられて過ごす ・園庭や戸外の生き物（草花、虫など）や自然（空、風など）を五感で感じ、見たり触れたりして遊ぶ ・新しい環境に期待と不安をもっている一人ひとりの子どもや保護者との対話を重ね、ありのままを受けとめる
5月	かんじて	・保育者の祈りや聖書の話を通して、神さまがいつもともにいてくださることを感じる ・好きな遊びを繰り返したり、友だちや保育者のやっていることに関心をもち心や体を動かす ・絵本やわらべ歌、ダンスなどを通して、保育者や友だちとともに楽しい経験を重ねる ・（保）保育者間で子どもの様子（生活習慣・遊びなど）を共有し、保護者とも連携をとりながら、一人ひとりに必要な関わりを考える
6月	さわってみよう	・季節の移り変わりや出会う自然物を通して、神さまが創られた命の不思議を感じる ・遊びや友だちとの関わりが少しずつ広がり、「さわってみたい」「やってみたい」思いがでてくる中で、不安や葛藤も出てくる ・雨や雪の様子、虫の動き、水・砂・泥など、様々なまわりのものに興味関心をもって五感をつかって遊ぶ ・子どもたちが自ら心を動かして遊び始めることができるよう、環境構成・素材の出し方に工夫を重ねる
7月	あらわして	・喜びを賛美で、感謝を祈りであらわすことでイエスさまを身近に感じる ・友だちや保育者に嬉しい・楽しい・悲しい・怖いなどの様々な気持ちを言葉や表情・態度であらわし、受けとめられる経験を重ねる ・水が気持ちの良い季節に思いきり水遊びを楽しむことや、朝の涼しい時間を選んで水陸で遊ぶ ・（保）熱中症対策や水の安全などを教職員間で共有しつつ、夏ならではの経験が豊かになるようにアイデアをいかに
8月	平和を祈りあう	・神さまに愛されている自分・家族・友だち・世界の人々が穏やかで平和であることを保育者とともに願い、祈る ・保育者に愛されながら、遊びの中で感じたこと、考えていることをこぼで表し、伝える経験をすること ・海、森、入道雲、カブトムシなど思いやりに生き生きする自然・命に触れて過ごす ・（保）自然災害、世界の国々の出来事に保育者自身が心を向け、子どもたちと一緒に思いを寄せられるように備える
9月	おもしろいね	・保育者と一緒に絵本や絵画、また聖書を通してイエスさまの話を聞くことに親しむ ・夏の経験から「おもしろそう」「やってみよう」思いが芽生え、友だちの真似をすることや保育者や友だちと助けあって遊ぶ ・虫の声や園庭の自然の変化から季節の移ろいを感じ、驚きや感動を保育者とともにこぼで表す。 ・（保）思いきり出てくる、もう一回やってみようと思えることやじっくり楽しめるように関わる。
10月	やってみよう	・大切な你と心を神さまが創ってくださったことを喜び ・歌う、踊る、作る、走るなどの4、5歳児の行動に慣れ、興味をもち同じようにやりたい気持ちが芽生え、繰り返して取り組もうとする ・気持ちの良い風を感じながら、体を動かして外遊びを楽しむ ・（保）子どもがやりたいように保育者が活動や環境を工夫し、個々の子どもへの配慮を教職員間で話し合う
11月	恵みに感謝	・身の回りの自然から秋の深まりを感じ、収穫や実り、日々の恵みを神さまに感謝する ・絵本や物語などから発見したごっこ遊びを楽しむ、友だちと気持ちが通じ合う体験を通して友だちと一緒に遊ぶことを喜び ・木の葉、木の実や収穫物に興味関心をもち、遊びや作ることを楽しむ ・（保）今の時を子どもと楽しみながら教職員間でクリスマスを迎える準備を始める。聖書からクリスマスの意味を学び、何を大切に過ごすかを考えながらアドベントを迎える
12月	イエスさまをありがとう	・イエスさまの降誕の話を聞き、神さまが私たちのためにイエスさまをおくられたことを知り喜び ・アドベントクランツやクリブを見てアドベントの雰囲気を感じ、クリスマスの嬉しい気持ちを表現する ・寒くなってくる季節の中でも戸外で遊ぶことを楽しみ、遊びの続きも大切にすること ・（保）忙しの中にあっても賛美やみことばによって保育者自身が満たされ、子どもや保護者とともにクリスマスを迎える喜びを分かち合う
1月	じゅっくりと	・クリスマスの経験からイエスさまによりいっそう親しみを感じ、聖書の話や子どもの頃のイエスさまの話を聞く ・友だちとこままわしや風船投げなどの伝承遊びを楽しむ ・吐く息の白さに気づき、霜や氷などに触れる経験をする ・（保）落ち着いて遊べる環境を作り、素材や教材を手に取りやすい場所に整える
2月	響きあって	・神さまがイエスさまを通して私たちとながっていることを感じ、友だちや家族のことを祈ろうとする ・友だちと生活する中で相手の思いに気づき、自分の思いを伝えることを経験する ・水々や球根の芽に気づき寒さの中でも春の準備が始まっていることを知る ・冬の園の生き物たちの姿に思いを返らす ・（保）1年間の子どもの生活・育ちを振り返り省察し、保護者と共有する
3月	みんな大成功	・1年間、神さまに守られて過ごし、友だちも自分も神さまに愛されている大切な存在であることを知る ・友だちと自分の違いを感じつつ一緒に遊ぶことを楽しむ ・日差しが明るく、暖かい風を肌で感じ春の訪れを心地よく感じる ・（保）1年間、ともに過ごした子どもやその保護者とその育ちを喜び、次年度に希望をもつ

2026年度 月主題 しゅイエスとともに

4, 5 歳児

月	月主題	月のねがい
4月	よろしくね	・賛美や祈り、聖書の話に親しみ、イエスさまの愛を感じ安心して過ごす ・好きな遊びに取り組み、安心して園生活を送る ・遊戯を喜び、新しい環境への期待や友だち、保育者との出会いを楽しむ ・春の自然に触れ、自然に対する興味や関心を深め、その楽しさやおもしろさを感じながら遊ぶ ・（保）子どもや保護者一人ひとりの思いに寄り添い、思いを理解しながら信頼関係を築いていく
5月	なんでだろう どうしてだろう	・生活の中で、神さまの創造された世界の恵みと数々の不思議にであらう ・好奇心や探求心を働かせ、友だちや保育者とともに興味のある遊びを楽しむ ・身近な草花や虫、木々、風などに触れ、身の回りにある様々なものの命を感じる ・（保）子どもたちの思いや興味、関心に共感し、子どもが主体的に活動できる環境を整える
6月	考えてみよう	・神さまの恵みに感謝し、イエスさまがいつもともにいてくださることを心に留め、嬉しい時も悲しい時も祈る ・疑問に思ったことを考え調べ、友だちや保育者と意見を出し合いながら興味をもったことに取り組み ・雨や雪、雷などといった自然の変化や、梅雨期の特有な自然現象、生き物、植物に目を向け興味や関心を深める ・（保）子どもが自ら考え発見できるように、過度に先回りせず、自分で試行錯誤する過程を大切にすること
7月	おもしろい	・友だちや保育者とともに賛美や祈りの心地良さを喜びを共有する ・友だちと発見する喜びを共有し、伝え合い、自分たちで考えることや発見すること、試行錯誤することをおもしろいと感じる ・水や砂・土・泥の感触を楽しむことや性質に興味をもち、全身を使って思いきり遊ぶ ・（保）家庭と密な連携を取りながら健康的な生活リズムや生活習慣を大切に、暑さ対策や水遊びの留意点など安全への意識を高めていく
8月	平和を 祈りあう	・イエスさまが私たちに平和を創り出すことを望んでおられることを知り、平和について折り合う ・経験したことや感じたことを言葉や様々な方法で表現する・思いを健康で安全に過ごすことを意識して生活しようとする ・ゆったりとした生活を送り、自然現象（夕立ち、台風、雷）や生き物など、自然の営みや命の大切さを知る ・（保）平和の重要性を子どもたちに伝え、子どもも保育者とともに平和を創り出すことができるよう祈り続ける
9月	いっしょに	・礼拝の中で神さまとのつながりを感じ、祈りや賛美の喜びを分かち合い心が満たされる ・友だちと意思を出し合い、力を合わせて活動や遊びを進め、イメージを広げていくことを楽しむ ・夏から秋へ移り変わる自然の中で心を開放し、戸外で体を十分に動かす心地よさと運動感を楽しむ ・（保）子ども一人ひとりの興味関心や友だちとの関係を把握し、育ちを深く捉え、必要な援助を行う
10月	交わって 楽しんで	・神さまが一人ひとりを愛し、それぞれに異なる賜物が与えられていることに感謝する ・友だちと意見を出し合う中で関係が深まり、遊びの楽しさやおもしろさ、また確しさを覚える ・秋の自然物の形や大きさ、手触りなど季節の変化（雲や風、虫の声、花の香りなど）を五感で感じ、興味をもて遊び、おもしろさや不思議さを楽しむ ・（保）子どもたち同士が共感したり心を合わせたりする充実感や楽しさを感じられる活動内容を計画し環境を整え、子どもたちが生活や遊びを創り出しつづけるような環境や働きかけを改めて考える
11月	恵みに感謝	・生活の中で恵みを見つけ、実りの時を与えてくださる神さまに祈りや賛美を通して感謝する ・友だちと意思の通いを調整しながら遊ぶ中で、遊びを広げていく経験をする ・秋から冬への季節の移り変わりを、秋の恵み（木の葉や実、葉など）に感謝して遊びに取り入れる ・（保）保育者間で聖書を讀み、さんびかを歌い、世界の国々にも目を向け、イエスさまがともにいてくださるという恵みを伝えていくために祈り合う
12月	イエスさまを ありがとう	・神さまがこの世にイエスさまを与えてくださったクリスマスの意味を知り、その喜びをまわりの人と分かち合う ・一人ひとりに与えられている賜物（恵み）を用いて友だちと協力し、制作や劇など様々な活動を楽しむ ・クリスマス会を持つ ・寒さの中で仲間と一緒に体を動かすことを楽しむ ・（保）クリスマスのために備える生活を大切に、子ども一人ひとりが自分の思いや力を発揮できるよう支える
1月	じゅっくりと	・クリスマスに与えられた平安と喜びをもって礼拝をまもり、聖書の物語に親しむ ・遊び方を工夫したり試したりしながら、じっくりと繰り返して遊ぶ満足感を明日へとつなげる ・友だちと雪や氷、霜の冷たさや不思議さを伝え合い、冬の自然を調べることで興味や関心を深める ・（保）子どもたちの気付きを大切に、満足いくまで遊びを深められるような環境を整える必要物を準備する
2月	響きあって 繋がりがあって	・イエスさまが一人ひとりを愛してくださることを実感し、友だちや家族、周りの人たちのことを祈ろうとする ・何でも言い合える関係の中で、お互いを認め合いながら遊びを深め、仲間意識を高めていく ・身近な事象に積極的に関わり、友だちと一緒に考え工夫して遊ぶことを楽しむ ・園生活に見通しをもち、必要なことを話し合い自分たちで進めようとする ・（保）保護者や関係者と今年度を振り返り、子どもの育ちをともに喜びながら新たな願いを見出し、次年度へと繋げていく
3月	希望をもって	・どんな時でもともにいるイエスさまに感謝し、これからも導いてくださることを信じて希望をもって歩む ・大きくなったことを喜び、就学や進級に期待と希望をもちながら、友だちと好きな遊びを存分に楽しむ ・春の自然や生き物に興味関心をもち、季節の移り変わりを感ずる ・（保）子どもや保護者、保育者が新年度に希望をもって進学・進級できるように、祈り、励まし、支え合う